



私のお店の内装にふさわしい
アンティーク調の
什器が欲しいんですけど…

この私のコレクションに
渋みを加えてもつと
素敵なものにしたいぞ

素晴らしい作品の
アイデアが
いっぱいあるのに…
金型代が高くて
僕には作れないよ…



溢れるものづくりスピリッツで
切り拓く 銅・真鍮の可能性

「伸銅品の溶接および^{いぶ}燻し加工」

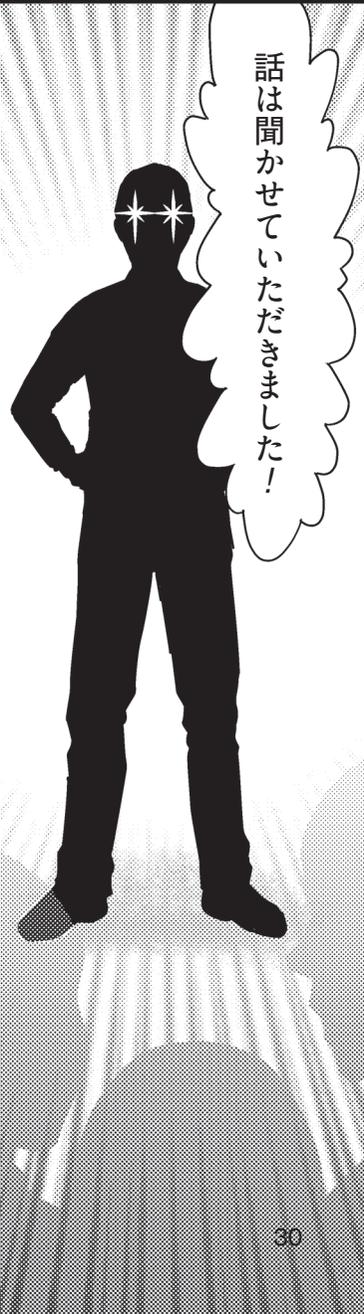
株式会社富士産業

作・もものき

(株)富士産業
代表取締役
望月麗子氏

(株)富士産業
常務取締役
杉本秀樹氏

皆様のご要望
すべて私たち富士産業に
ぜひご相談ください!



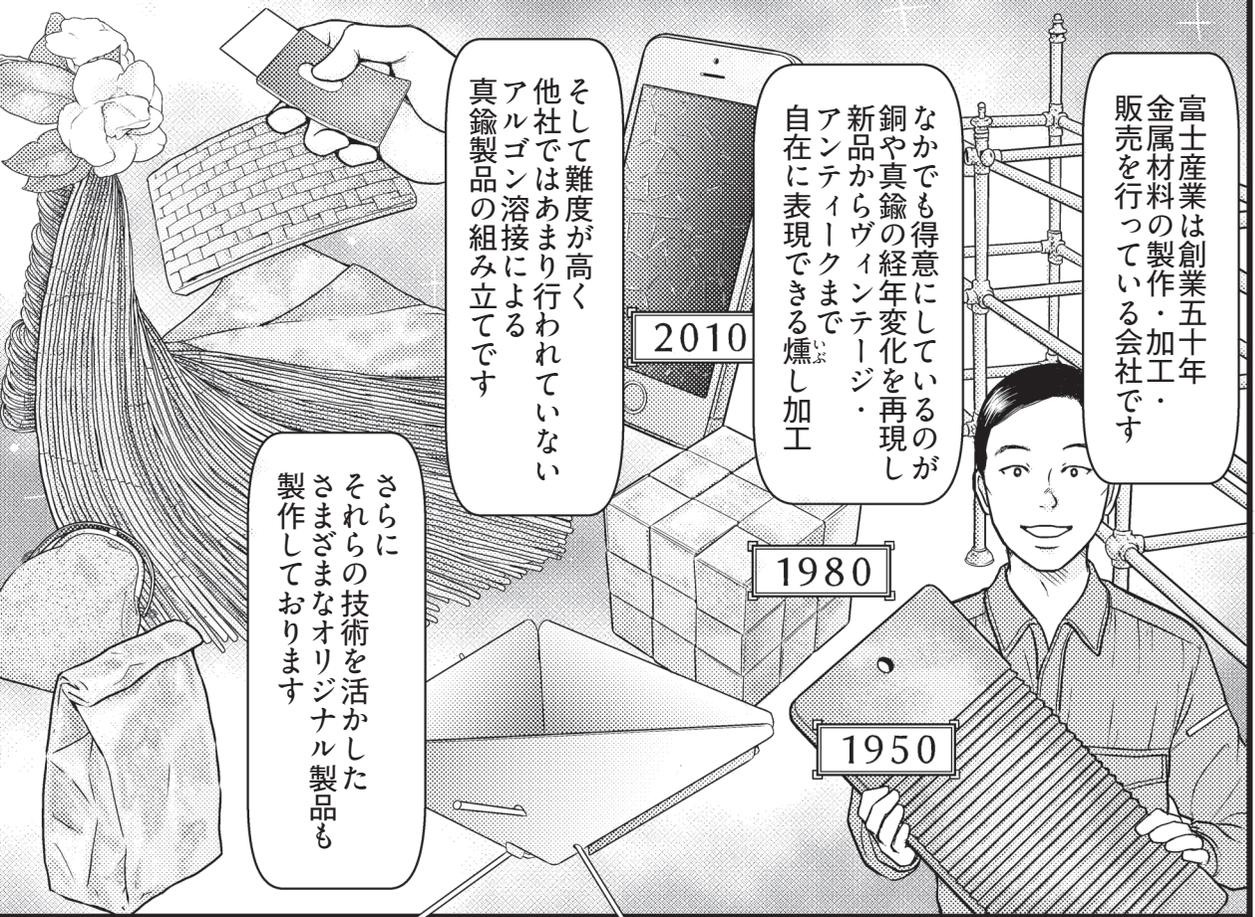
話は聞かせていただきました!

富士産業は創業五十年
金属材料の製作・加工・
販売を行っている会社です

なかでも得意にしているのが
銅や真鍮の経年変化を再現し
新品からヴィンテージ・
アンティークまで
自在に表現できる燻し加工

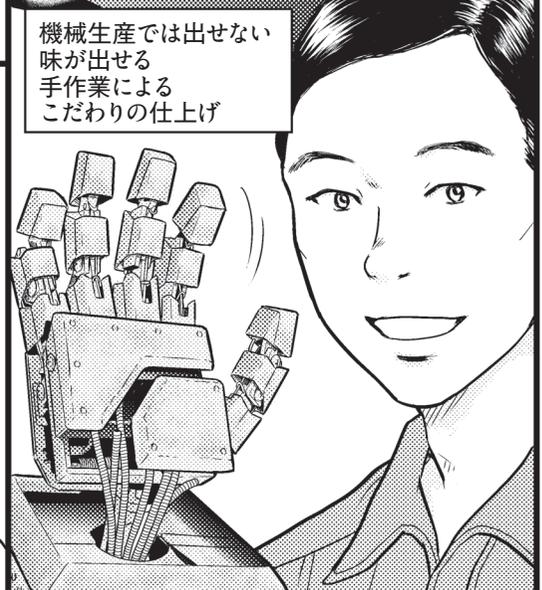
そして難度が高く
他社ではあまり行われていない
アルゴン溶接による
真鍮製品の組み立てです

さらに
これらの技術を活かした
さまざまなオリジナル製品も
製作しております



鉄などの表面に
真鍮加工したものではありません
出せない「本物」の風合い
経年変化による
得も言われぬ「渋み」を
ぜひもっと多くの人に
知っていただきたいと
思います

機械生産では出せない
味が出せる
手作業による
こだわりの仕上げ



昭和四十四年
先代社長が創業した富士産業は
金属材料のシャーリング(せん断)
販売をメインにしています

しかし平成七年
先代・望月氏が急逝！



急速あとを継いだ
麗子氏は将来を見据え
後継者候補を探すことに

なにに
町工場の後継者
募集……？



面白い!

ものづくり大好き青年
杉本氏運命の出逢い

金属材料や加工には
素人だった杉本氏は
まず二年間地道に
シャーリングの仕事に励み

社長、自分
表に出てみたいです

その中でひとつの思いを
強くしてゆきます

このまま材料販売だけを
続けていても他社との
差別化は限界があるのでは…

何か他ではできないことを
やらなくちゃ…

いいですよ
やってみなさい

そして営業に転じて
他の工場や職人さんと
触れ合い、知識や人脈を
広げてゆき…

それに
人がやらないことを
してみたい!

そんなある日

銅製品を
扱っていると
聞いたんだが

Yes!

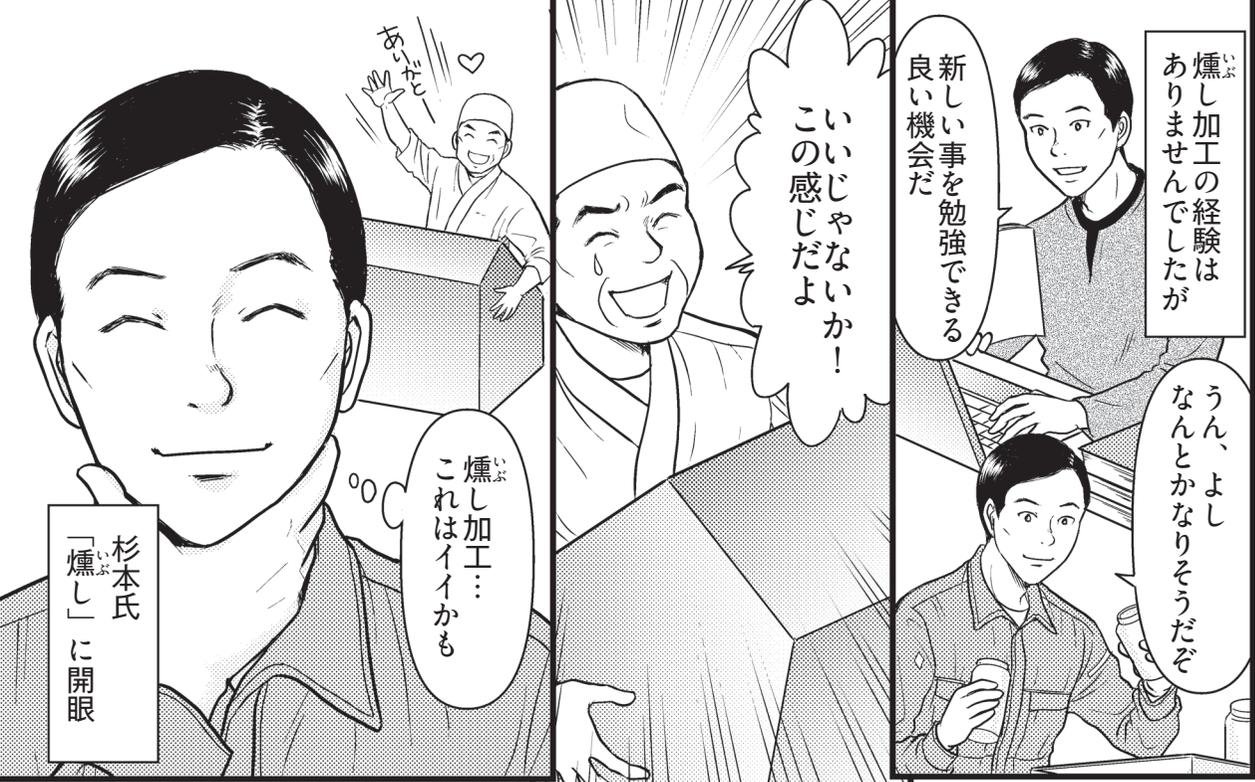
そうして選んだのが
銅や真鍮という素材を
積極的に扱うことでした

銅や真鍮は単価が高く
リスクが大きい
扱いたがらない人が
多かったのです

うちの天ぷら店を使う
天ぷら鍋のカバーを

銅の燻し仕上げで
お願い
できますかね?

燻し?



燻し加工の経験は
ありませんでしたが

新しい事を勉強できる
良い機会だ

いいじゃないか！
この感じだよ

うん、よし
なんとかかなりそうだぞ

杉本氏
「燻し」に開眼

燻し加工…
これはイイかも

拝見しました。たいへん素敵
ご相談なのですが、貴社では
真鍮の燻し加工は行っておられますで
ぜひお願いしたいのですが



その魅力を
広く伝えるため早速
SNSで発信してみました

銅の燻し加工
いかがですか…と



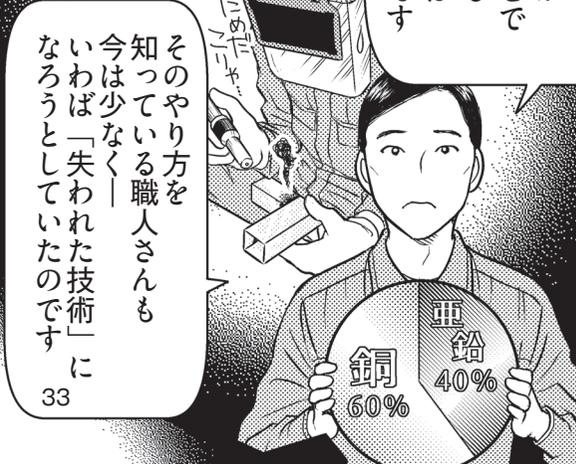
うまく染まらず
まだらになったりする

溶接しても
きれいに仕上がらず
溶けたりブツツに
なってしまう

真鍮は銅と亜鉛の合金ですが
この亜鉛が含まれていることで
燻し加工も、また溶接による
組み立ても銅と同じ方法では
まったく上手くゆかないのです



真鍮…
ですと？



そのやり方を
知っている職人さんも
今は少なく
いわば「失われた技術」に
なろうとしていたのです



よしよし
反応が来たぞ
ん？

またも一からのスタート…
再び研究が始まりました

おおう
こんな古い文献に
やり方が…

うん、このぐらいの
感じがちょうど
ヴィンテージ

染めはできても
組み立てられなければ
製品は作れない…

それも出来上がりが
綺麗でなければ駄目だ

染め具合を
調節するには
どうすればいいの

配合・時間…
色々やってみよう

こっちは
アンティークだな

真鍮をアルゴン溶接で
美しく仕上げる方法…

アイデアが
降ってくるのは
寝入りばな…

そうだ

色々な方法を考え試してゆく中で
かつて営業していた時に
他所の色々な職人さんの
やり方や材料などを
実際に目にしてきたことが
すくくヒントになりました

希望通り
表に出して貰えたことが
本当に良い経験になって
役に立っているんです

ひよつとしたら
これで…

出来たぞ
！！

約一年に及ぶ
研究と試行錯誤の末
オリジナルの技術が
完成したのです

現在の第二工場も
かつては倉庫だったんですが
改装して専用の研究室のように
使わせてくれたり

研究も製作も随分
自由にさせて貰ってます

やっぱりやる気があって
頑張る人は応援したい…
自由にやらせてあげたいですよね

やりたい事は止めない…
先代もそういう人でした

自由に「ものづくり」を
やらせて貰ったぶんを
今度は自分が返してゆきたい

そんな気持ちで
若いクリエイター・
デザイナーたちに
支援を行っています

良いアイデアがあれば
形にして世に問う道を
拓いてあげたいのです

創業の苦しい時代から
先代の夫と手を携え
育んできた富士産業への想いを
「我が子」と表現する麗子氏

その想いが
次世代にも受け継がれて
いるのでしよう

次から次へと
浮かぶアイデア

「これからのことを
考えるとワクワクしてくる」
と語る杉本氏

これからもさらに
真鍮という素材の魅力を
伝えてゆきたいのですね

そのためにもどんどん
新しいことに挑戦し
色々なものを作りたい

施工・設置にも手を
広げようとも思っています

とどまることを知らない創作意欲と
こだわりの研究心
クリエイトする心への熱い共感で

ここ葛飾の地から
洪い輝きを
世界に広げてゆきます